

平成28年度高槻・山崎出張所（大阪府域）管内
新規河川レンジャー展開計画（案）

平成28年3月

目 次

1. 新規河川レンジャー展開計画の目的	1
2. 平成28年度展開計画の考え方	1
3. 平成28年度河川レンジャー展開の方向	4
4. 河川レンジャーの推薦人数について	14
5. 平成28年度河川レンジャーの展開について	16

1. 新規河川レンジャー展開計画の目的

新規河川レンジャー展開計画（以下展開計画）とは、各出張所管内河川レンジャー運営会議（以下運営会議）において、所属する河川レンジャーの活動状況等を踏まえ、運営会議の対象区域に望ましい活動内容と活動エリア、必要な河川レンジャーの人員を検討・決定する年度ごとの計画であり、河川レンジャーの募集・決定の基本的な考え方となるものです。

運営会議は、この展開計画について討議、決定する役割を担っています（**運営要領第59条**）。

2. 平成28年度展開計画の考え方

2. 1. 視点の設定について

河川レンジャーの役割は、河川と地域との良好な関係を構築することです。

このため、展開計画の作成にあたっては、地域と河川レンジャーの状況の両面から検討する必要があるため、2つの視点から活動の展開の方向を整理します。

視点①地域に必要であると考えられる活動からの展開

地域で展開されている事業をもとに地域の課題を抽出し、必要であると考えられる活動からの展開の方向を検討します。河川レンジャーには「住民と行政の橋渡し役」としての役割が期待されるため、自治体との連携・協働の可能性という観点も重要です。

- ・ 地域づくりの最上位計画に相当する自治体の総合計画から地域の課題を抽出し、自治体との連携・協働の可能性という観点も含めて、地域で望まれている河川レンジャー活動を抽出します。
- ・ 地域の河川利用で望まれている活動を抽出するため、淀川管内河川保全利用委員会資料等から、河川レンジャーとの連携・協働が考えられる活動を整理します。
- ・ 地域住民の河川に対するニーズを幅広く収集し（アンケート調査等）、今後の河川レンジャー活動に求められる役割を整理します。

視点②河川レンジャーの活動状況からの展開

河川レンジャーは平成15年度にスタートしており、すでに地域に根ざしたものとなってきています。このため、これまでの活動状況をふまえた展開計画の検討が必要です。

- ・ 来年度に展開される活動分野、地域を整理し、検討のベースとします。
- ・ これまでの河川レンジャーの活動状況から、展開されてきた活動の分野と地域を抽出します。

2.2.河川レンジャーの人員について

河川レンジャーの人員は、出張所ごとに若干名と定められています(運営要領第 19 条)。

また、1 出張所あたり 5 名として河川レンジャーの運用を行っており、当展開計画もそれに準じた人員を設定します。

山崎出張所については、大阪府域(高槻・山崎運営会議)・京都府域(伏見・桂川・山崎運営会議)をあわせて 5 名とします。

募集人員については、長期的かつ継続的な運用を考慮して、1 年に 1 出張所あたり 1 名を原則とします。

2.3.河川レンジャーの活動範囲について

河川レンジャーは、国土交通省が管轄する範囲(8つの出張所が分担して管理)を基本に、その沿川地域も含めて活動を行うことができます。

河川レンジャーはそれぞれ運営会議に所属しており、その運営会議を構成する 1~3 つの出張所の管理範囲をあわせたものが河川レンジャーの活動範囲となります(運営要領第 8 条)。

また、河川レンジャーは、本来の活動範囲以外の場所でも活動を行えるよう、活動範囲の拡大も認められています。



図 2.1 淀川管内各運営会議管轄範囲

2.4.河川レンジャーの活動分野について

河川レンジャーが行う活動については、運営要領に 10 の内容が定められています(運営要領第 11 条)。

河川レンジャーの活動内容	
(1)	防災・救援・救難の推進を図る活動
(2)	河川の環境保全を図る活動
(3)	河川の適正な利用の推進を図る活動
(4)	節水意識の普及・啓発活動
(5)	日常的な河川管理活動
(6)	河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動
(7)	河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動
(8)	川づくり・まちづくりへの参画・支援活動
(9)	川の人材を育成する活動
(10)	河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信

本計画では、以上の活動内容について、平成 15 年に河川レンジャー活動が始まった当初からのデータの蓄積、整理手法に基づき、7つの活動分野に分類しています。

河川レンジャーの活動については、1つの活動の中に様々な内容、目的を含んでいますが、データ整理の必要上、主要な分野を1つ抽出しているものです。

表 2.1 本計画で用いる河川レンジャーの活動分野の分類

活動分野	内容
河川美化	河川清掃の活動等
環境保全	ヨシ原の保全や外来種対策に関する活動等
啓発その他	全般的な河川の学習、啓発に関する活動等 川づくり、まちづくりに関する活動等
広報	河川レンジャーに関する説明や活動紹介、淀川に関する紹介等
自然観察	植物や野鳥の観察など、淀川の自然を観察する活動
水利用等	水質調査や河川水の利活用を学ぶ活動等
防災	防災施設の見学や治水について学ぶ活動等

3. 平成28年度河川レンジャー展開の方向

視点① 地域に必要と考えられる活動からの展開

(1) 沿川自治体で推進している事業

沿川自治体の総合計画では、市民活動への支援や、市民の学習機会を増やす取り組みが複数進められており、地域コミュニティの形成や高齢者の社会参加が課題となっています。環境学習に関する事業や自然環境を活用した青少年育成などの事業が推進されるなど、現在の美しい環境を活かしながら、守り育てていくことが地域の課題となると考えられます。また、大規模災害を想定した災害対策も地域と一体となって進められています。

河川レンジャーの活動としては、「河川美化」「環境保全」「啓発その他」「自然観察」「水利用等」「防災」の分野での展開が考えられます。具体的な活動イメージは次の通りです。

- ①美しい環境を守り育てる活動
- ②河川環境、防災、水利用に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に河川の魅力を伝える活動
- ③個人・団体・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

表 3.1 沿川自治体の河川レンジャーとの連携が模索できる事業およびその展開（分野）

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	事業等	河川 美化	環境 保全	啓発 その他	広報	自然 観察	水利用 等	防災
摂津市	摂津市第4次総合計画 (H23.2) 【H23～H32年度】	「みんな」が協働するまちにします			●				
		市民活動が活発なまちにします			●				
		安全な水を安定的に供給できるまちにします			●			●	
		良好な景観のまちにします	●	●	●				
		災害や危機に強いまちにします			●				●
		環境への負荷が少ないまちにします			●	●			
		水と緑に親しめるまちにします	●		●				
		高齢者が社会参加できるまちにします			●				
		生涯学習活動が活発なまちにします			●				
		地域で子どもを育むまちにします			●				
高槻市	第5次高槻市総合計画 (H23.3) 【H23～H32年度】	豊かな親水空間、緑空間維持・形成	●	●	●				
		大規模災害を想定した防災・減災体制整備			●				●
		コミュニティ活動、市民公益活動の支援			●				
		自然や社会体験を通じた青少年の健全育成		●	●		●		
		歴史遺産、豊かな自然環境などを活かした市の魅力向上	●	●	●				
		市民参画、協働の推進			●				
島本町	第4次島本町総合計画 (H23.3) 【H23～H31年度】	水辺環境の保全と活用		●	●				
		自然的景観の保全		●	●				
		環境保全と廃棄物処理	●	●	●				
		ごみ処理	●		●				
		防災対策の推進			●				●
		治水対策の推進			●				●
		住民参画・協働のまちづくりの推進			●				

(2) 地域住民のニーズからの展開

①アンケート調査の概要【淀川ー4（高槻出張所管内）】【淀川ー5（山崎出張所管内）】

河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

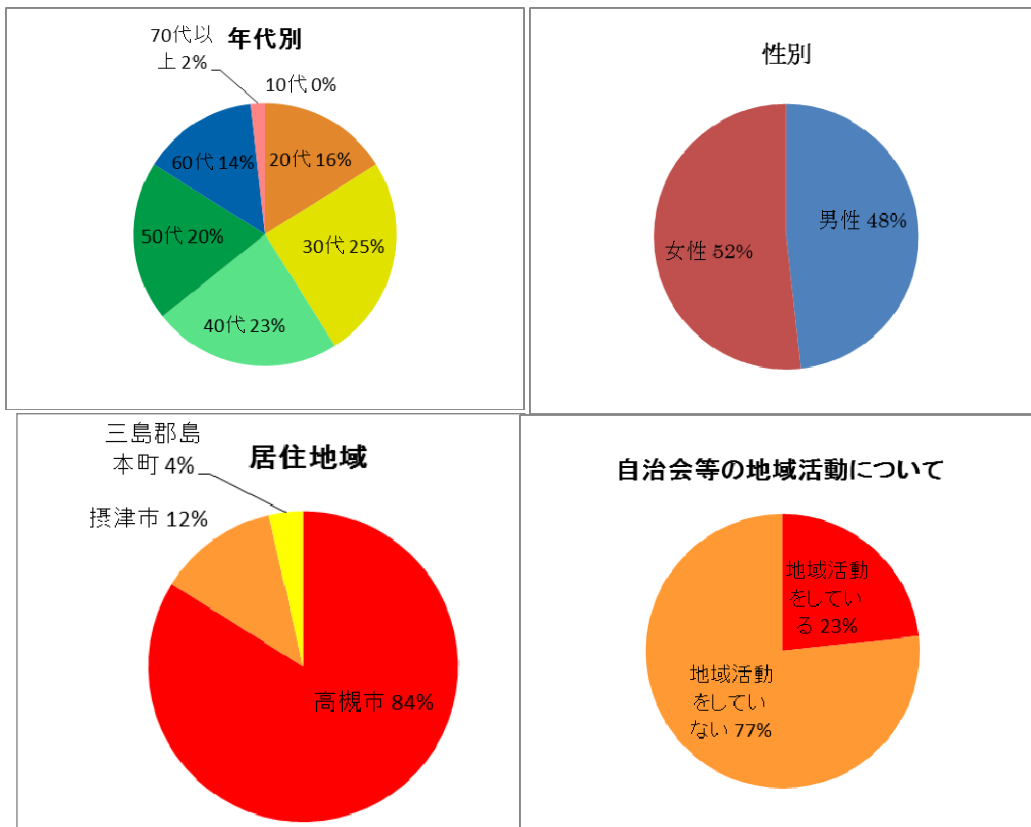
表 3.3 アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	平成 28 年 2 月 26 日～27 日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	56

【高槻・山崎（大阪府域）出張所管内回答者属性】

回答者は 30～40 代を中心とし、高槻・山崎（大阪府域）出張所管内の高槻市、摂津市、島本町に居住しています。

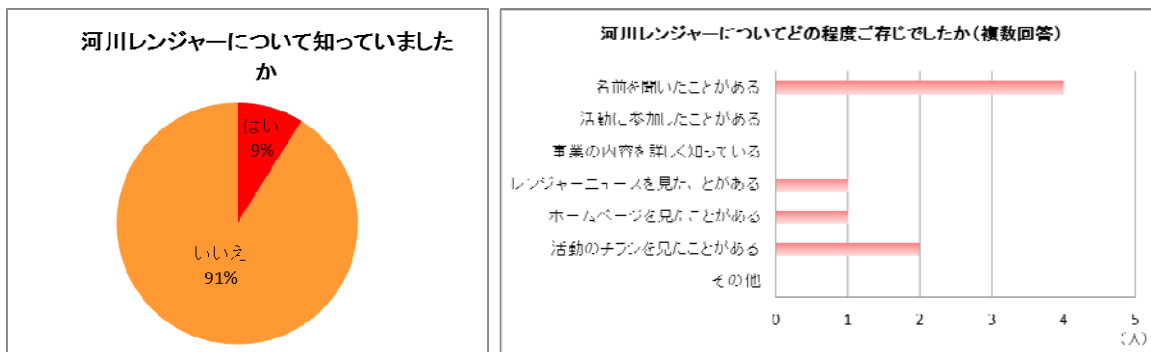
自治会等の地域活動への参加率は 23%です。



②アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ

＜河川レンジャーの認知度＞

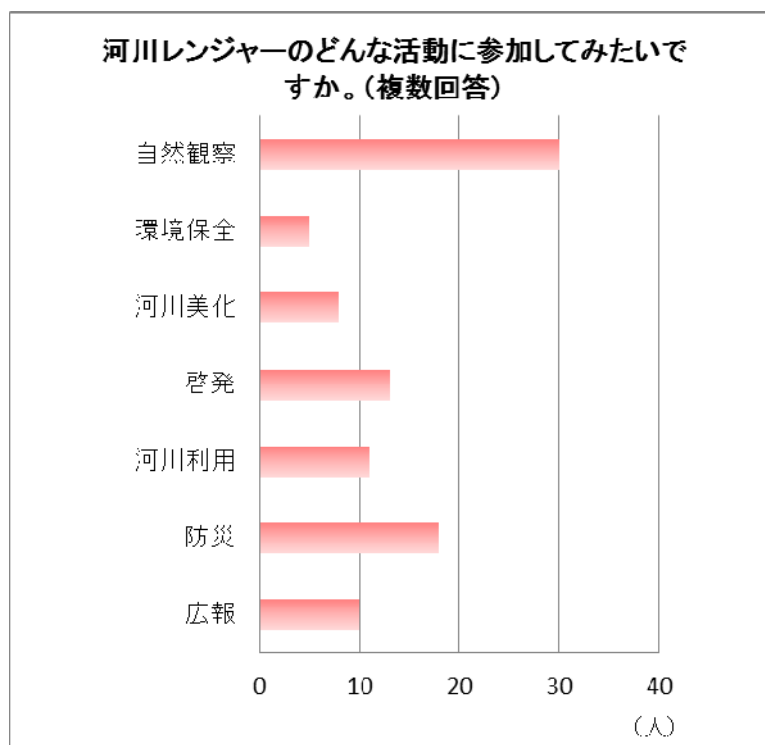
河川レンジャーの認知度は 9%であり、「名前を聞いたことがある」方がほとんどです。

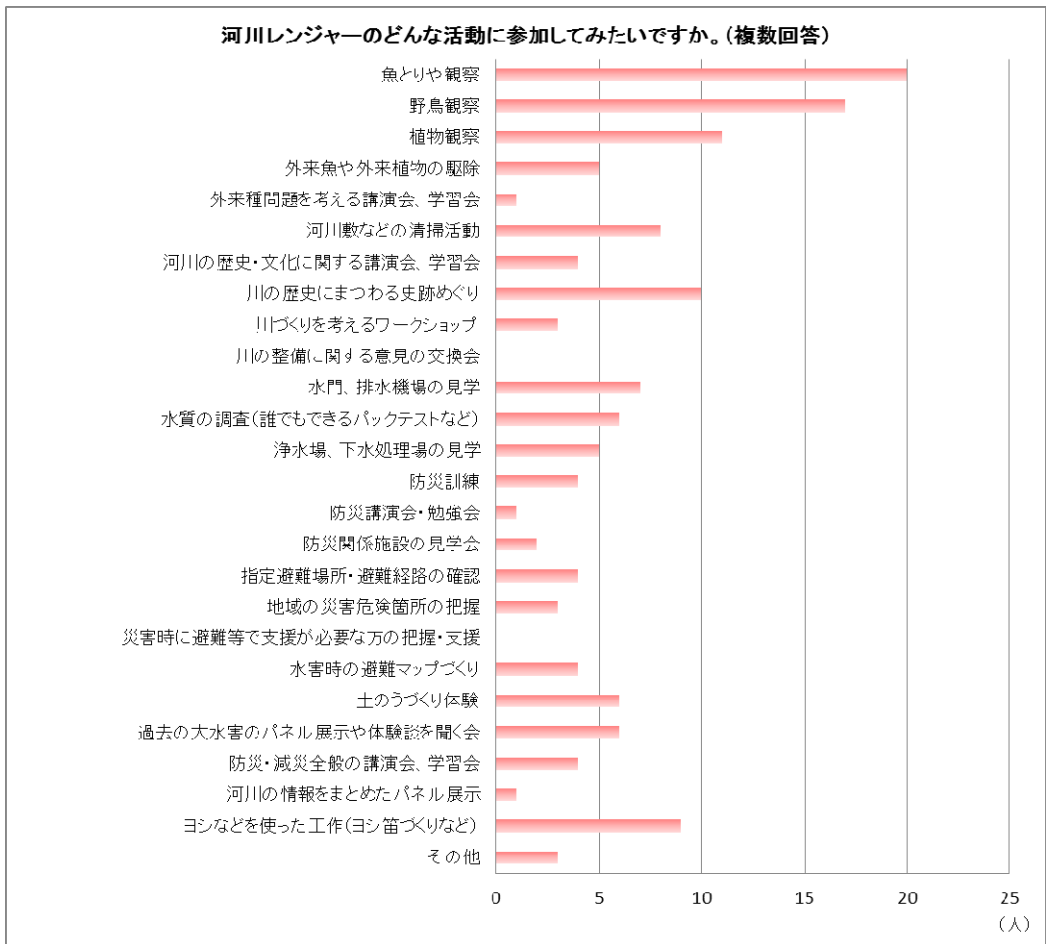


＜参加を希望する活動＞

自然観察がもっとも多く、ついで防災の希望が高くなっています。

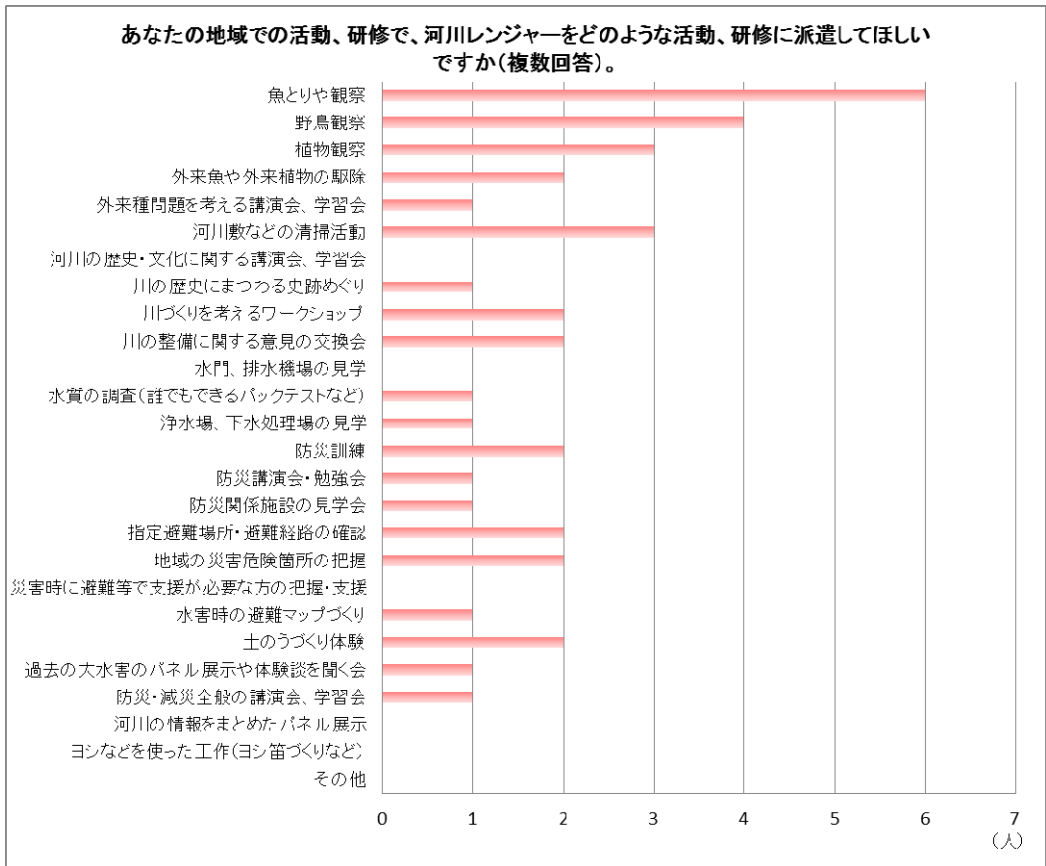
河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては、魚とりや観察、野鳥や植物の観察、川の歴史にまつわる史跡めぐり、ヨシ工作、河川敷などの清掃活動などの希望が多くなっています。





<地域活動への支援ニーズ>

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては、自然観察等の活動への希望がでています。(地域活動を行っている方のみの回答)



(4) 地域に必要と考えられる活動からの展開

これまでに整理した現状から、当管内では「河川美化」「環境保全」「啓発その他」「自然観察」「防災」の分野での活動の展開が考えられます。

具体的な活動イメージとして次のようなものが考えられます。

- ①美しい環境を守り育てる活動
- ②河川環境に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動
- ③個人・団体・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

視点② 河川レンジャーの活動状況からの展開

(1) 来年度に活動が予定されている分野、地域

【高槻出張所管内（淀川－４）】

来年度は、当管内で3名の河川レンジャーが活動を予定しています。

活動分野は、「啓発その他」を中心に「自然観察」「環境保全」の活動が予定されています。活動地域は高槻市が中心であり、摂津市の活動が少ない状況です。

表 3.2 H28 年度河川レンジャー活動予定（淀川－４）

氏名	活動名	河川 美化	環境 保全	啓発 その他	広報	自然 観察	水利用 等	防災	行政区				
									摂津市	高槻市	島本町	その他	
杉本 真一	高槻ジュニア河川レンジャー					●					●		
	たかつき川トークプロジェクト			●				●			●		
原 健二	大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動			●							●		
	バッタのオリンピックの開催					●					●		
	大塚地区水辺クリーンアップ活動 【淀川・芥川クリーンアップ大作戦】	●									●		
本田 有	津之江公園再生プロジェクトへの参加										●		
	こいのぼりフェスタ1000での広報活動										●		
	たかつきエコフェスタでの広報活動										●		
	芥川クリーンアップ大作戦 津之江地区水辺クリーンアップ活動		●								●		
	おかあさんは魚はかせ			●									
連携活動	芥川水辺のいきもの観察会		●	●							●		

注1) 活動分野は事務局の判断で分類

注2) 重複する分野は主要な分野でカウント

【山崎出張所管内（淀川－５）】

来年度は、当管内で１名の河川レンジャーが活動を予定されています。

島本町を中心に、「自然観察」をのぞくすべての分野の活動となっています。

表 3.3. H28 年度河川レンジャー活動予定（淀川－５）

氏名	活動名	河川 美化	環境 保全	啓発 その他	広報	自然 観察	水利用 等	防災	行政区				
									摂津市	高槻市	島本町	その他	
福嶋 保雄	諸団体との連携構築(適宜)				●							●	大山崎町
	「ふれあい広場」：第二地区福祉委員会、島本町 支援 水質調査						●					●	
	箏笛づくり「YYワールド」				●							●	
	「しまもと環境学校」：水質調査						●					●	
	「地域で考えよう防災」セミナー 避難所開設ゲーム							●				●	
	災害発生・対応状況啓発「島本町総合防災訓練」：防災パネル 展示							●				●	
	「地域でやってみよう防災」 中学校区防災訓練 水中歩行・水没ドア体験							●				●	
	「防災とボランティア訓練」防災パネル展示							●				●	
	「桂川流域クリーン大作戦」の桂川から淀川（大阪府）への展 開	●										●	
	親水検討報告（河床低下調査、さかなが棲む川に）（適宜）		●									●	
	淀川河川公園島本地区状況報告と意見交換 （三川合流、ゴルフ場跡地、公園整備）			●								●	
	河川利用者への安全指導、不法投棄の状況把握(適宜)			●								●	

注１）活動分野は事務局の判断で分類

注２）重複する分野は主要な分野でカウント

(2) これまでの活動状況からみた活動分野

当管内で河川レンジャーが活動を始めたのは平成18年度からで、10年間で307回の活動が実施され、18,000人を超える参加者を集めています。

河川レンジャー数は、平成18年に1名からスタートし、平成20年度からは3名～6名の間で推移しています。

活動分類から見ると、最も多く行われている活動は、水辺の安全指導などの啓発その他の分野の活動です。次いで、自然観察、環境保全に関する活動です。

参加者数が多いのは啓発その他、環境保全の活動であり、これまでに参加者は4,000名を超えています。

表3.5. 高槻・山崎出張所（大阪府域）管内河川レンジャー活動状況（平成18年度～27年度）

年度	河川レンジャー数	活動回数 参加人数	河川美化	環境保全	啓発 その他	広報	自然観察	水利用等	防災	総計
18	1名	回数		1			3			4
		人数		48			107			155
19	1名	回数		2	1		8			11
		人数		126	83		554			763
20	3名	回数		7	3	2	12	2	1	27
		人数		276	282	82	718	114	24	1,496
21	4名	回数		4	30		8	3	1	46
		人数		245	806		478	227	28	1,784
22	5名	回数		9	26	5	3	5	5	53
		人数		334	355	1,753	114	252	275	3,083
23	5名	回数	2	10	20		17	6	2	57
		人数	137	304	464		1,030	302	61	2,298
24	6名	回数	1	4	43		3	3	4	58
		人数	81	361	1,360		84	135	113	2,134
25	4名 アドバイザー3名	回数	2	4	17		4	2	5	34
		人数	33	185	312		204	138	818	1,690
26	5名 アドバイザー3名	回数	1	5	7		2		5	20
		人数	37	1,130	698		110		1,497	3,472
27	5名 アドバイザー3名	回数		3	6		4	1	3	17
		人数		608	64		184	31	261	1,148
合計		回数	6	49	153	7	64	22	26	327
		人数	288	3,617	4,424	1,835	3,583	1,199	3,077	18,023

注1) 事務局の判断で1活動につき1分野で分類

注2) 重複する分野は主要な分野でカウント

注3) H27年度はH27.12.31までのデータを集計

*活動内容分類の定義は以下の通り。

活動分野	内容
河川美化	河川清掃の活動等
環境保全	ヨシ原の保全や外来種対策に関する活動等
啓発その他	全般的な河川の学習、啓発に関する活動等
広報	河川レンジャーに関する説明や活動紹介、淀川に関する紹介等
自然観察	植物や野鳥の観察など、淀川の自然を観察する活動
水利用等	水質調査や河川水の利活用を学ぶ活動等
防災	防災施設の見学や治水について学ぶ活動等

活動内容ごとに活動回数の推移を見ると、環境保全、自然観察を中心に平成 24 年度まで増加してきましたが、直近 3 カ年度は大きく減少しています。

参加者数では、平成 22 年度をピークに減少していましたが、平成 26 年度は環境保全、防災、啓発その他の参加者数が大きく増加し、平成 27 年度で再び減少傾向にあります。

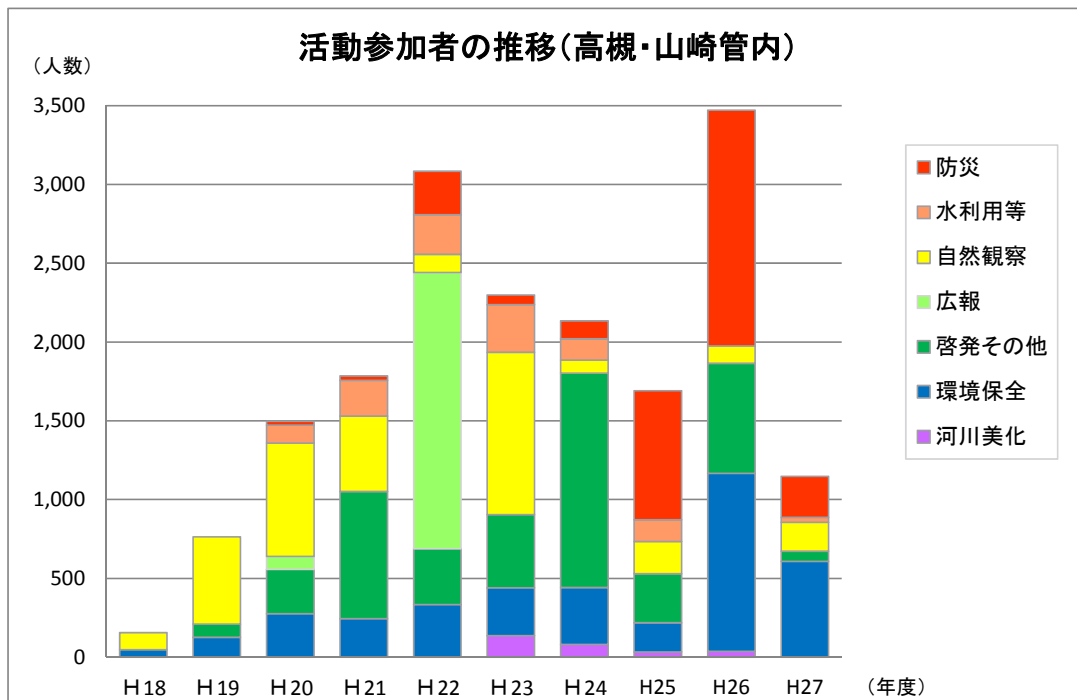
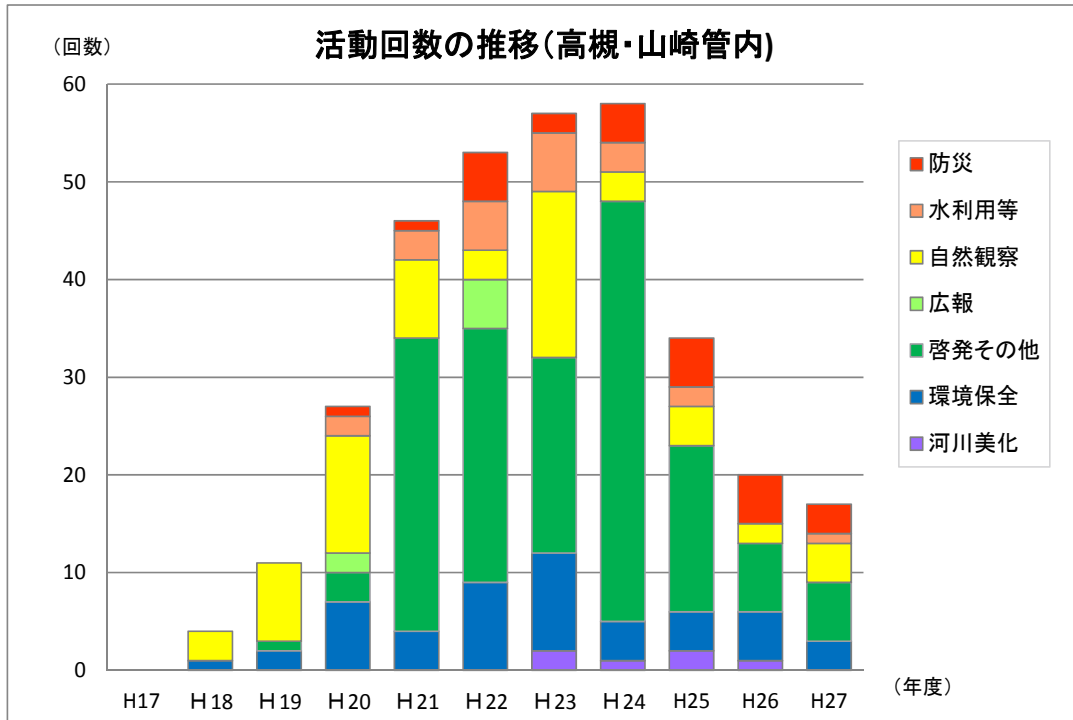


図 3.1. 管内の河川レンジャー活動の回数および参加者数 (H27 は H27. 12. 31 までの活動を整理)

当管内では、高槻市において最も活発に活動が行われています。また、平成 26 年度からは、それまで活動実績がなかった島本町で活動が開始されました。

表 3.6. 活動内容/行政区における活動回数（平成 18～27 年度）

活動区域	種別	河川 美化	環境 保全	啓発 その他	広報	自然観察	水利用 等	防災	総計
摂津市	回数	0	0	69	1	0	0	5	75
	人数	0	0	1,266	72	0	0	118	1,456
高槻市	回数	3	30	142	3	51	23	16	268
	人数	120	1,507	3,092	1,678	3,076	1,302	653	11,428
島本町	回数	1	3	1	0	0	1	4	10
	人数	37	1,528	451	0	0	31	805	2,852
その他 地域	回数	2	5	14	6	4	0	9	40
	人数	131	96	462	3,748	192	0	2,475	7,104

* 複数区にまたがる活動はそれぞれの行政区でカウントしました
* 平成 27 年度は H27. 12. 31 までに行われた活動を整理しました

（3）河川レンジャーの活動状況からの展開

当管内における河川レンジャー活動状況をみると、「啓発その他」「自然観察」等の分野が、中心的な活動となっていることがわかります。

島本町では、新規河川レンジャーが誕生し、新たな活動が開始されており、更なる活動の広がりが期待されます。摂津市での活動が少なく、今後の展開について検討が必要です。

4. 河川レンジャーの推薦人数について

地域における河川レンジャー活動の継続という観点から、河川レンジャーの任期について確認し、平成28年度の河川レンジャーの推薦人数について検討します。

【高槻出張所管内（淀川－4）】

高槻出張所管内では、平成28年度は3名が在籍の予定です。

今後の河川レンジャーの体制をみると、継続的な活動展開と、5人体制（最大）で運用するという点から、本年度は2名の推薦が望ましいと考えられます。

以上から、平成28年度は2名の河川レンジャー推薦者が必要です。

表 4.1 平成28年度河川レンジャーの任期（満期までの活動を想定）

出張所	氏名	任命年	キャリア(H28)	H28	H29	H30	H31	H32	H33
高槻	杉本 真一	H23	2期2年目						
	原 健二	H24	2期1年目						
	なし	H25							
	なし	H26							
	本田 有	H27	試行期間						
	〇〇 〇〇	H28	(予定)	募集					
	〇〇 〇〇	H28	(予定)	募集					
	〇〇 〇〇	H29	(予定)		募集				
	〇〇 〇〇	H30	(予定)			募集			
	なし	H31							
	〇〇 〇〇	H32	(予定)					募集	
	:	:	:						:
	計			3名	4名	4名	5名	5名	5名

■ 試行期間 ■ 第1期 ■ 第2期

表 4.2 河川レンジャー数の推移

年度	河川レンジャー	河川レンジャー アドバイザー
H18	1名	—
H19	1名	—
H20	2名	—
H21	2名	—
H22	3名	—
H23	3名	1名
H24	4名	2名
H25	4名	2名
H26	4名	2名
H27	3名	2名

【山崎出張所管内（淀川－5）】

山崎出張所管内では、平成28年度は大阪府域に1名、京都府域に2名が在籍するため、合計3名の河川レンジャーが在籍します。

継続的な活動展開の観点から、平成28年度は京都府域・大阪府域あわせて1名の河川レンジャー推薦者が必要です。

表 4.3 平成28年度河川レンジャーの任期（満期までの活動を想定）

出張所	氏名	任命年	キャリア(H28)	H28	H29	H30	H31	H32	H33
山崎	東親志(京都)	H24	2期1年目						
	松方隆(京都)	H25	1期2年目						
	福嶋保雄(大阪)	H25	1期2年目						
	なし	H26							
	なし	H27							
	〇〇 〇〇	H28	(予定)	募集					
	〇〇 〇〇	H29	(予定)		募集				
	〇〇 〇〇	H30	(予定)			募集			
	〇〇 〇〇	H31	(予定)				募集		
	〇〇 〇〇	H32	(予定)					募集	
	:	:	:						:
	計			3名	4名	4名	3名	4名	4名

試行期間
 第1期
 第2期

表 4.4 河川レンジャー数の推移

年度	河川レンジャー		河川レンジャー アドバイザー
	大阪府域	京都府域	
H18	—	1名	—
H19	—	1名	—
H20	1名	1名	—
H21	1名	1名	—
H22	1名	1名	—
H23	1名	—	1名
H24	1名	—	1名
H25	1名	1名	2名
H26	1名	2名	2名
H27	1名	2名	2名

5. 平成28年度河川レンジャーの展開について

以上の結果を整理し、河川レンジャー展開計画案としてとりまとめます。

視点①地域に必要と考えられる活動展開

沿川自治体の将来計画等から、「河川美化」「環境保全」「啓発その他」「自然観察」「水利用等」「防災」等の分野での河川レンジャー活動の展開が考えられます。

具体的な活動イメージとして次のようなものが考えられます。

- ①美しい環境を守り育てる活動
- ②河川環境、防災、水利用に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に河川の魅力を伝える活動
- ③個人・団体・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

視点②河川レンジャーの活動状況からみた活動展開

- ・管内を代表する「啓発その他」「自然観察」等の分野の活動は、来年度も引き続き活動が行われます。
- ・来年度は2名の河川レンジャー推薦が望ましいと考えられます。
- ・摂津市の活動が少なく、検討が必要です。

以上の地域のニーズ及び河川レンジャーの活動状況を踏まえ、高槻・山崎出張所（大阪府域）管内では「河川美化」「環境保全」「啓発その他」「自然観察」「水利用等」「防災」等の分野の活動が必要であると考えられます。

なかでも、活動の継続性と地域ニーズから「啓発その他」「自然観察」等の分野を重視します。

これらの分野の具体的な活動イメージは次の通りです。

- ①美しい環境を守り育てる活動
- ②河川環境、防災、水利用等に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に河川の魅力を伝える活動
- ③個人・団体・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

【高槻出張所管内（淀川－４）】

活動地域についてみると、摂津市を活動の中心に置く河川レンジャーがおらず、また、活動数が少ないことから、重点地域とします。

また、平成 28 年度は 3 名の河川レンジャーが活動を予定しており、新規に河川レンジャーとして必要な人員は 2 名とします。

【山崎出張所管内（淀川－５）】

平成 26 年度から島本町で活動が開始され、今後の活発な活動が見込めること、管内の高槻市域については高槻出張所管内の河川レンジャー活動を展開していることから、重点地域は定めません。

平成 28 年度は管内の大阪府域で 1 名の河川レンジャーが活動を予定しており、京都府域では 2 名の河川レンジャーが活動を予定しています。山崎出張所全体でみると、在籍河川レンジャーは 3 名（大阪府域 1 名、京都府域 2 名）です。

以上から、山崎出張所管内の新規河川レンジャーとして必要な人員については、大阪府域・京都府域で調整して 1 名を決定するものとします。

表 5.1. 平成 28 年度 高槻・山崎出張所管内（淀川－４、５）展開計画（案）

管内	人数	活動区域	活動内容等
高槻出張所 管内 (淀川－４)	2 名	摂津市を 重視します	必要であると考えられる分野は「河川美化」「環境保全」「啓発その他」「自然観察」「水利用等」「防災」等です。 なかでも「啓発その他」「自然観察」の分野を重視します。 【具体的な活動イメージ】 ①美しい環境を守り育てる活動 ②河川環境、防災、水利用等に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に河川の魅力を伝える活動 ③個人・団体・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動
山崎出張所 管内 (淀川－５)	1 名 (大阪・京都府域 あわせて 1 名)	限定しない	



図 5. 1. 平成 28 年度 高槻・山崎出張所管内（淀川-4、5）展開計画（案）

注) 淀川本川以外での活動について

河川レンジャーは淀川本川の沿川地域で活動を展開します。ただし、本川において中心的に活動することを前提に支川で活動することができます。